



に大事だなと思います。お父さんに教室などの参加を促すというのは、良いことですよね。

森川 海田町は、転勤で来られるなど、知り合いがいない人たちが友達づくりをスムーズにできるよう、サークル支援にも力を入れています。

入江 孤立化予防という点では大事ですね。

森川 何か不安があった時には、保健師や保育士が訪問して、子育ての相談に応じたりもしています。

まち全体で取り組む子育て支援

町長 子育てでは「楽しむ」というキーワードが大事なんです。子育ても楽しむし、私た

新春対談

妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援を行う、海田町のネウボラ事業について、広島県助産師会会長の入江寿美代さんと西田町長たちが（こども課長・森川、母子保健コーディネーター・北川）語り合いました。



広島県助産師会会長
入江寿美代



海田町長
西田祐三

入江 寿美代さん

日本母性衛生学会、日本周産期新生児医学会、日本助産学会などに所属。一般社団法人広島県助産師会会長、広島国際大学助産学専攻科准教授のほか、広島県周産期医療協議会、広島県看護職確保対策協議会などの委員も務める。広島県助産師会立ってから助産院で非常勤を務めるなど、お母さんたちの悩みに丁寧に向き合うほか、助産師の育成にも力を注いでいる。

一般社団法人広島県助産師会
目的 広島県民の母子保健に関する知識普及ならびに家庭保健および母子保健の改善に貢献する。
活動内容 イベントや研修会の開催。また、相談コーナーや講座などを通じ女性や家族の妊娠、出産、育児に対する不安やストレスの軽減に努める。
委託事業 海田町では、産前・産後サポート事業や、宿泊型やデイケア型の産後ケア事業を委託。

海田町について

入江 海田町の出生数は400人くらいですか？

町長 330人程で、増加傾向にあります。海田町では保健師、保育士、管理栄養士が、パパママ教室や赤ちゃん教室、親子教室などのネウボラ事業を行っています。

北川 ネウボラ事業の拠点である、ひまわりプラザでは助産師さんの協力もいただきながら、多くの教室を行っています。ベビーマッサージや骨盤ケア・ベビィケアなどの産前・産後サポート事業はとても好評です。

町長 助産師さんなど専門職の人が相談にのってくれると、安心感があるよね。

ちが、支援する、サービスをするという意味の楽しみも含めて、子育てを楽しめる町というのを、今スローガンにあげながら動いています。

入江 妊娠中から顔の見える関係をつくっているのが、子育て支援センターへ行きやすいというのもあるかもしれないですね。妊娠中から関わるといえるのは良いですね。

赤ちゃん訪問に関しては、顔の見える地域づくりとして、他市町だと、民生委員や母子保健推進員といった人たちが、訪問していたりする場合があると思うんですが、海田町は保健師が訪問されているんですか。

北川 はい。地域の皆さんとも交流していただきたいので、ブックスタートとして、民生委員の皆さんに絵本を配布していただいています。

入江 赤ちゃん訪問といっても、ただ冊子だけを持っていったって、家庭の中に入ることができなかったりというところがあると、家庭環境やお母さんの育児の悩みなどの相談まで進まなかったりしているのので、保健師や助産師といった専門家が訪問ができればいいなと思っていました。

今後の海田町に向けて

入江 子育てなどのサークルに参加

パパもママもいっしょに子育てを

森川 お父さんもいっしょに母子健康手帳を取りに来ていただければ、ひまわりプラザは土曜日も開館しています。

パパママ教室では、お父さん意識しているんです。お父さんが参加しやすい教室設定をして、お父さん同士が話しをしてくださるようなきっかけを作ったりしています。

町長 お父さんの関わりが大事なんです。

入江 お父さんがいかに子育てであったり、奥さんをサポートしてくれただかによって、その後の離婚率が違うというデータもあります。

お父さんたちが育児にも、お母さんにも目を向けるということが非常

できない人や、人見知りであったり、集団が苦手といった人もいらっしゃると思いますが、そういった人へのフォローはどうされているんですか。

北川 外へ出てこられる人には、教室の案内などを行うのですが、なかなかそういったことが苦手な人や疲れてしまう人には個別の対応として訪問などをさせてもらっています。

入江 助産所だけの産後ケアではなくて、病院や保健師など、地域と連携をしながら、フォローしていく必

